

経済ニュースまるごと1週間

●週末

24日ロシア中銀が翌日物預金金利を0.25%引き上げ 08年末以来
25日中国人民銀行が金融機関の期間1年の預金金利と貸出金利を0.25%引き上げ
西東京市議選 民主惨敗

●12月27日(月) 10,355.99円(+76.80円)

欧米主要市場休場で薄商い
東証REIT指数 年初来高値更新

●12月28日(火) 10,292.63円(-63.36円)

11月鉱工業生産6ヶ月ぶりプラス、12月1月の先行き予測もプラス
11月家計調査 消費支出2カ月連続減
11月消費者物価 21ヶ月連続下落 耐久財落ち込む
11月失業率 横ばい 有効求人倍率7ヶ月連続改善も0.5倍台の低水準

●12月29日(水) 10,344.54円(+51.91円)

米10月ケースシラー住宅価格指数 前年同月比で9ヶ月ぶりマイナスに転じる
米12月消費者信頼感指数 予想外に悪化
米25日までの週 小売既存店売上 好調
ドル/スイスフラン 最安値更新

国内株式市場で、指数は反発。

円高を嫌気して小幅続落で始まったものの、米ダウが08年8月以来の高値をつけたことや、為替市場で朝方一時1ドル=81円台、1ユーロ=107円台まで進んだ円高が一服したことで徐々に買いが優勢となった。中国株が落ちついた動きを見せていることも安心感を誘った。ただ、海外勢はまだ戻っていないようで商い低調、明日に大納会を控えて上値を追う勢いは欠けた。

●12月30日(木) 10,228円92銭(-115円62銭)

●12月31日(水)

ドイツ、スイス、韓国などは休場

ウィークエンド株! 的 2010年三大ニュース

・和島英樹

政府の為替介入

・福永博之

今年の日銀の政策決定会合全て

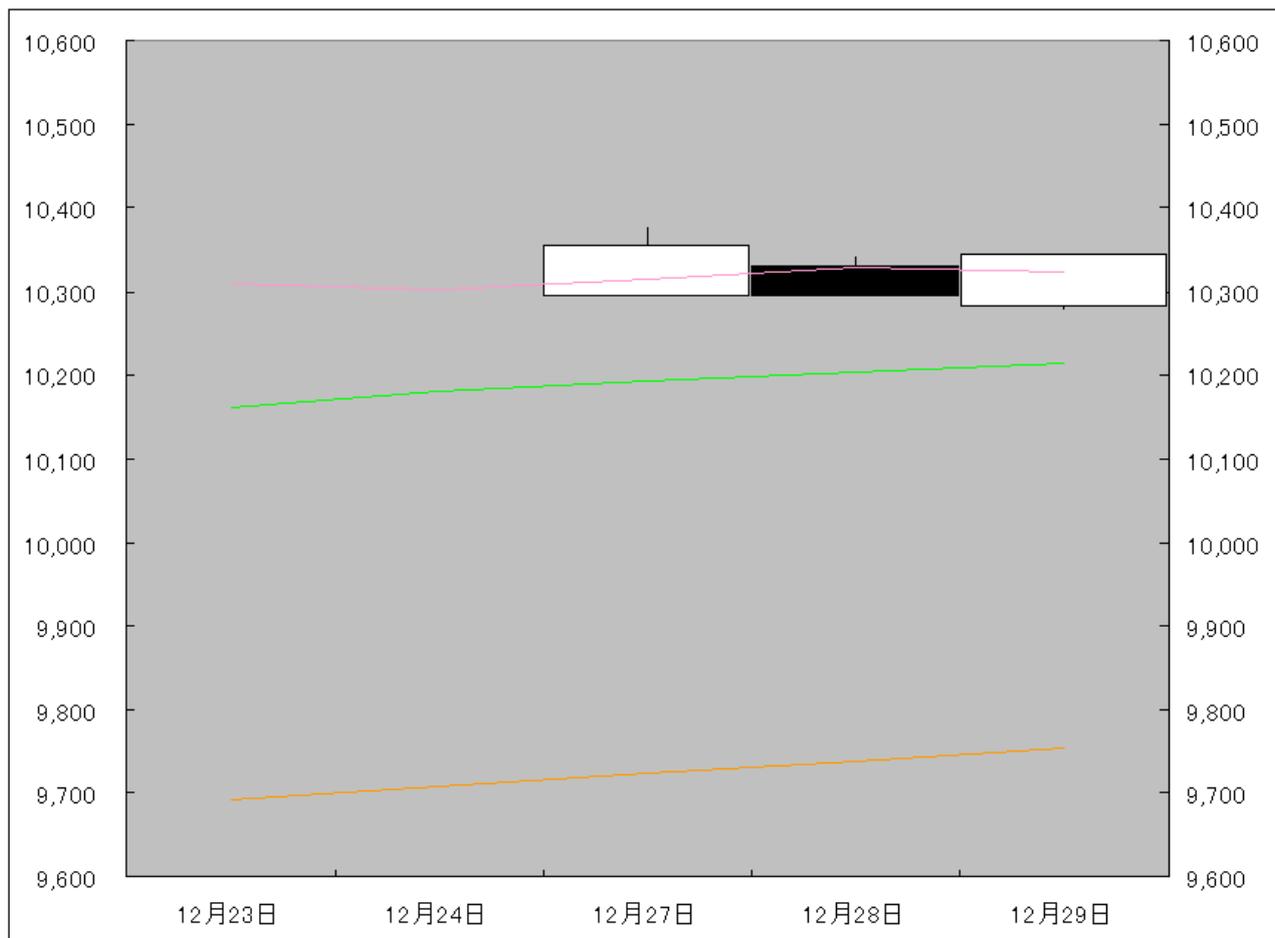
・叶内文子

アローヘッド(東証が年初に導入した次世代株式売買システム)

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

今週の日経平均株価(12/29 まで)



※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

和島英樹の銘柄一本勝負!

1. 一本勝負銘柄



クボタ(6326) 12/29 終値: 776 円(変わらず) 千株単位

農業機械、鑄鉄管ともに国内トップを誇る。注目されるのがアジアの動向だ。同社は稲作向けの機械に強みがあるが、中国、インド、ベトナムなどもコメを主食としている。タイは世界最大のコメ輸出国であり、クボタのシェアは同国で7割に達している。タイでは現地に農機工場を作り、量産体制を整えた。タイだけで日本国内の農機需要を上回っており、今後は他のアジア地域にも力を入れていく方針だ。大手調査機関では「国内では競合企業はあるものの、稲作向けでは世界を見渡して頭抜けた位置にある」としている。

日本の農業が隆盛だった1975年前後にかけて同社の業績が急拡大した。現在、中国などアジアでは人口増加と工業化が進んでおり、当時の日本と似た経済環境にあると見られている。かつて取材した際に、益本康男社長は「当時は機械が売れ過ぎて販売店に在庫がなくなり、お客様が直接工場にきたほどだった」と当時を振り返っている。そうした状況が、今後アジアで出てくる可能性が大きい。同社ではタイで海外戦略の実績を作り、他国でも拡大を目指している。中国では沿海部の工業化の結果農家が人手不足気味になっており、稲の刈り取りなどは業者に委託するが、現地メーカーの製品は長時間使用に耐えられず、壊れやすいという。そこで同社製品への需要が増加してきている。富裕層が拡大し、高くてもおいしいコメが食べたいという向きが増えていることも高価格農機の購入を後押ししているようだ。中国は始まったばかりで、今後本格化する見通しにある。

このほど、アジア共通設計のコンバイン「エアロスターワールド」を新発売した。アジア各国で通用するコンバインの条件である(1)高い基本性能(2)高い耐久性(3)シンプルで低価格、というコンセプトをクリアしている。メンテナンス分野も強化していく方針。また、中国に小型建設機械の製造会社を設立2012年に量産を開始し、2018年には年間約1万4000台の生産を目指している。現地化によりコスト競争力の強化や為替変動リスクの回避を図る。同社は小型建機の世界トップ企業という。

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

2. おまけ銘柄(1)



曙ブレーキ工業(7238・再掲) 12/29 終値: 527 円(+2 円) 千株単位

経営の原点＝エンジンが壊れても自動車は止まるが、ブレーキが壊れると止まることができない。フォーミュラ1(F1)でも、ポルシェ・マクラーレン・メルセデスチームに07年から採用。F1は世界一早く走る車だが、それはすぐに止まる、減速ができるブレーキがあつてのこと。ブレーキを通じた、社会への「安全・安心の提供」に取り組むべき課題の第一に挙げている。アジア地域での自動車普及が加速するに従って、同社の役割が大きくなる。新興国にもブレーキメーカーはあるが、粗悪品では命にかかわる。同社はトヨタが大株主も基本は独立系であり、系列に縛られない強みがある。自動車用や二輪車用のほか、新幹線のディスクブレーキ、リニアモーターカー用ブレーキ機構部品も手がけている。

09年12月に独ロバート・ボッシュ社から北米ブレーキ事業を譲り受けた。北米地域全体におけるブレーキ生産能力の適正化と事業分野の拡大を目指す。一部報道によれば、北米以外のブレーキ機構部品事業についても買収の検討を始めたとされている。一方、国内の生産拠点を再編し、生産体制の最適化を図った。

9月中間期末実績での売上高構成比はGM25%、日産系・トヨタ系各12%、フォード10%で、これにいずれも、ホンダ、三菱自などが続く。ボッシュ譲受前の前年のGM構成比は7%だった。アジアでは中国、インドネシアを中心に展開している。2011年3月期の売上高は2200億円(前期比68%増、北米譲受分663億円含む)、営業利益125億円(同2.7倍)となる見通し。インドネシアが3割増の140億円など日本を含むアジアが拡大する見通しにある。1株利益49円から計算したPERは約10倍。株価はボックス圏を離脱する気配を見せ始めている。

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

2. おまけ銘柄(2)



アドバンス・メディア (3773・マザーズ) 12/29 終値: 50,900 円 (▼1,000 円) ひと株単位

音声認識システムのパイオニア的な存在。音声認識エンジン(音声を文字に変換する技術)で世界シェアトップを走り、医療など各種業務に合わせたパッケージソフトを製作・販売している。医療分野では音声による電子カルテ入力でシェア100%を誇っているほか、NTTドコモの「らくらくフォン」では音声によるメール入力ソフトを提供。また、都議会などの議事録にも、音声を直接文書化し、速記者が要らない仕組みが普及しつつある。

同社の最大の強みは自然発話対応であること。一般的な音声認識は単語認識しかできない。単語認識とは音声で入力する際に、機械の解読能力に合わせて行なわなければならないこれではユーザーは機械に使われている気がする。自然発話は普通に話せば、それを機械が認識するので、機械とのインターフェースが円滑だ。例えば電子カルテでは、検査結果を見ながら触診し、その内容を医者が音声で発することによりカルテが書き込まれていく。これを自然発話対応といい、なまりや早口でも対応する仕組みとなっている。医師の負担が減り、業務効率も向上することなどが受け入れられ、医療機関への納入実績は3000機関に迫る勢いだ。赤字体質が継続しているが、着実な実績の積み重ねや、09年8月には医療事務・介護分野で大手のニチイ学館との資本業務提携を決めるなど、黒字浮上へのきっかけをつかもうとしている。ニチイ学館が育成した医療スタッフが電子カルテの修正を行うことで、医師の負担軽減にもつながっている。医師はこれまで残業でカルテを記入していたが、その分患者に対応したり、定時退社も可能になる。

議事録作成サービスは東京都議会全12委員会で一括導入されている。また、iPhone(アイ・フォン)向けでは流行のTwitter(ツイッター、つぶやきブログ)の音声入力に同社の技術が採用された。今年7月23日には個人向けの音声認識ソフト「AmiVoice SP(スピーチパーソナル)」を発売した。これはパソコンに向かって話すだけでリアルタイムに文字化できる音声入力ソフト。使えば使うほど認識精度が向上する学習機能が付いている。各種報告書や電子メールなどの作成では、キーボード入力と比較して2~3倍早く入力することが可能となっている。雑誌の編集者などにも重宝される。

同社では97年の創業以来、「ソフトコミュニケーション革命」を目指してきた。米アップルがiPhoneやiPadで、キーボードなどを使わずに指の操作だけでページをめくったり、画像の拡大、縮小を可能にした。アドバンス・メディアはこれの音声版で、キーボードを使わずに、音声で書類や議事録、電子カルテを作成できるようにしてきた。個人向けの発売で、13年を経てようやく花が開きつつあるといえそうだ。

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

福永博之のテクニカルマスターへの道

チャート講座編

◎第37回目：オシレーター系チャート基礎編（7）

RSIのまとめ

RSIシリーズの最終回です。ボックス圏のパターン、急騰パターン、そして全体相場TOPIX・NTT(9432) 日足 RSI



・双信電機(6938) 日足 RSI



※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

・高岳製作所(6621) 日足 RSI



・TOPIX 日足 RSI



※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

ウィークエンド・アラカルト

「教えて! 経済指標」

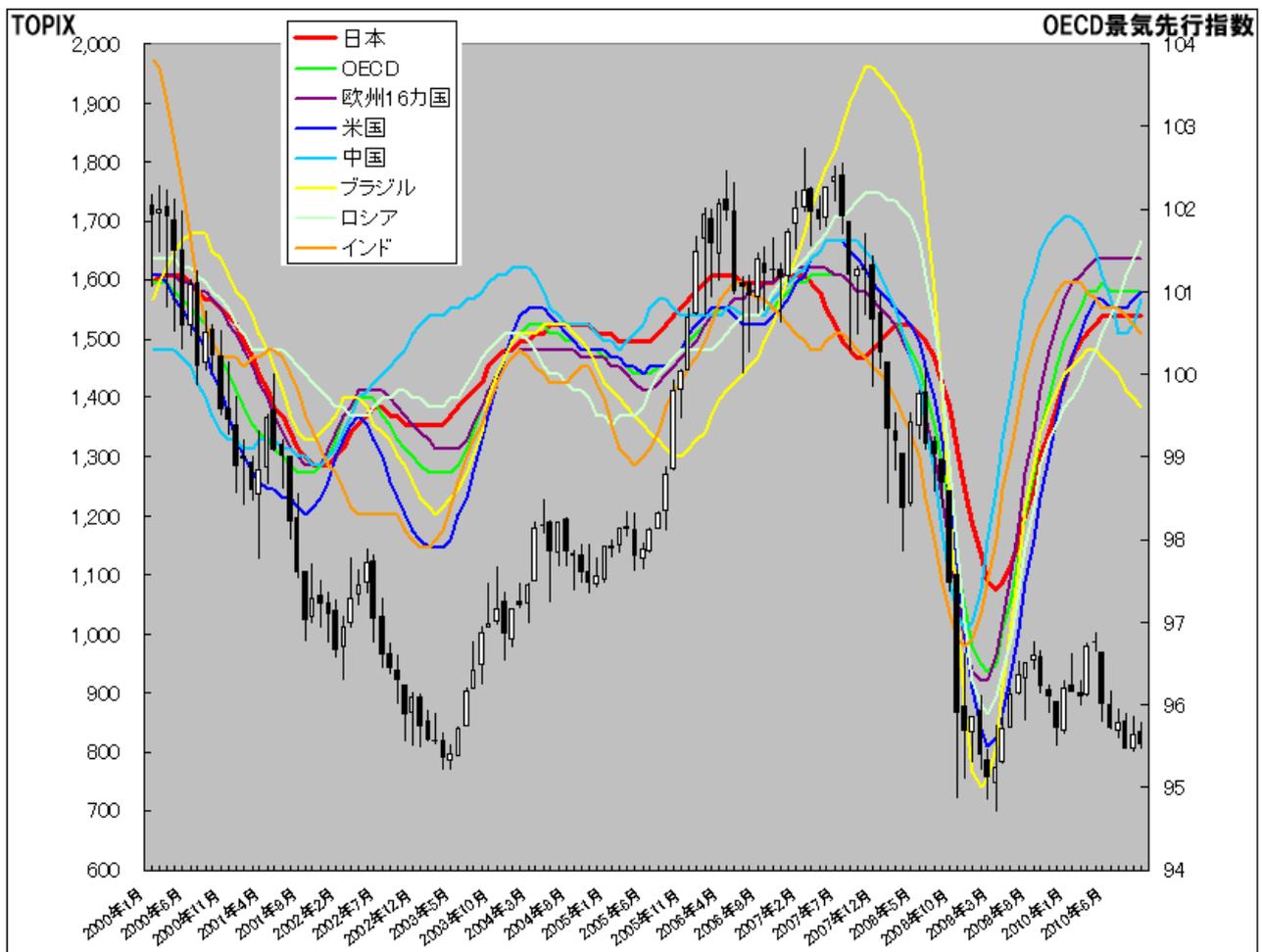
OECD景気先行指標(CLI)

経済協力開発機構(OECD)が、加盟国について、GDPに関連しているとされる幾つかの主要短期経済指標から作成している景気先行指数。

景気の拡大と鈍化の転換点(景気のピークと底)の早期シグナルを示すもの。

(OECDサイトを参照)

http://stats.oecd.org/Index.aspx?DatasetCode=MEI_CLI



TOPIX月足チャートと、各国・地域のOECD景気先行指数(CLI)[2000.1~]

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

☆**経済協力開発機構(OECD)**が発表した10月のOECD加盟国の景気先行指数は**102.6**、前月の**102.5**から小幅に上昇。2ヶ月連続で横ばいの後プラスに転じた。

主要国の内訳は、米国が2ヶ月連続プラス(9月+0.1、10月+0.3)、中国、フランスで改善、一方、ユーロ圏は5ヶ月連続の横ばい、日本はマイナスに転じた(9月+0.0、10月▲0.1)。主要7カ国(G7)の景気先行指数は、前月の102.6から102.7に上昇。

米国が先行して改善しつつあるか。

中国は2ヶ月連続上昇。インドは3ヶ月、ブラジルは6ヶ月連続のマイナス。新興国まちまち。

OECDは「先月の評価と同様、成長見通しは主要国間で開きがある。しかし多くの国で景気サイクルが収束している暫定的な兆候が示され始めた」と指摘。

- * 生産の先行指標、世界経済の先行指標
- * 6ヶ月変動率ベース、实体经济に半年ほど先行
- * よく改訂される
- * 外国人投資家の姿勢と連動性が高いと言われている。
- * 日本の鉱工業生産、機械受注との相関性が高い

◆OECDとは

OECDは「Organisation for Economic Co-operation and Development: 経済協力開発機構」の略。本部はフランスのパリ。

◆OECD加盟国・・・現在30か国

EU加盟国(19か国)

イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フィンランド、スウェーデン、オーストリア、デンマーク、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、アイルランド、チェコ、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキア

その他(11か国)

日本、アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、オーストラリア、ニュー・ジーランド、スイス、ノルウェー、アイスランド、トルコ、韓国。

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION

和島英樹の2011年・活躍期待銘柄の例

・インフラ関連

クボタ(6326)、KYB(7242)、川崎重工業(7012)、第一中央汽船(9132)

・自動車

曙ブレーキ(7238)、鬼怒川ゴム工業(5196)、タチエス(7239)

・薄型テレビ ブイ・テクノロジー(7717・マザーズ)

・個人消費関連 ジェイアイエヌ(3046・JQ)、マンダム(4917)

・省力化投資

THK(6481)

・次世代テーマ(大穴)

アドバンスト・メディア(3773・マザーズ)、アンジェスMG(4563・マザーズ)

・スマートグリッド、医療(ヘルスケア)

福永博之マスターの「2011年キーワード」

・為替

・ソブリンリスク

・朝鮮半島

※本資料は、ラジオ NIKKEI の音声コンテンツ(『和島英樹のウィークエンド株!』)の内容を補足し、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。コンテンツご利用の際には、必ずラジオ NIKKEI web サイト免責条項をご確認ください。

無断複製・転載等禁止 ©NIKKEI RADIO BROADCASTING CORPORATION